



CAT.NO H17-5S

脱臭脱煙装置一体型
廃発泡スチロール・廃プラスチック再資源化溶融減容機

スーパースチームパッカー®

特許出願済

漁菜卸売市場・各種事業所・公共清掃施設向き



SSP-1000S

脱臭・脱煙・脱タールを最優先した無公害型
脱臭炉と溶融炉を一体化した省エネ・省スペース型

灯油／都市ガス仕様

ゆたかな環境と未来に貢献する



シグマ機器株式会社

脱臭脱煙装置一体型

廃発泡スチロール・廃プラスチック再資源化熔融減容機

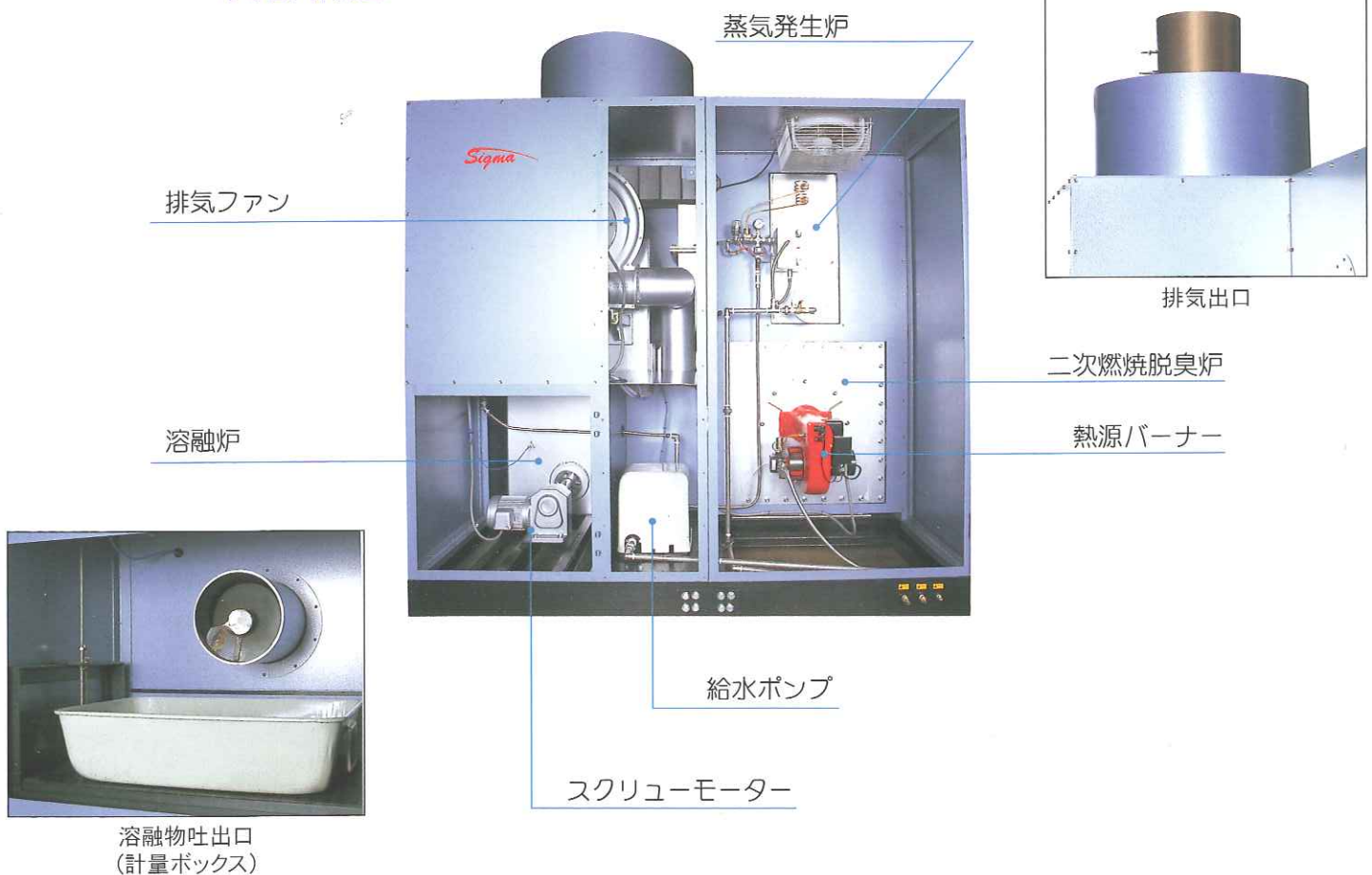
スーパースチームパッカー[®]

『スーパースチームパッカー』は、廃プラスチック（但し、塩化ビニールを除く）を熔融減容処理する際に発生する臭気や煙、タール等の除去を最優先に考え、熔融減容機と脱臭脱煙装置を一体化しました。

熱源バーナーは脱臭炉側にのみ1台使用するだけで、熔融炉側にはありません。熔融炉の熱源は、脱臭炉に設けた蒸気発生炉を経由して間接的に導入する方式とし、省エネと省設置スペース化を図りました。

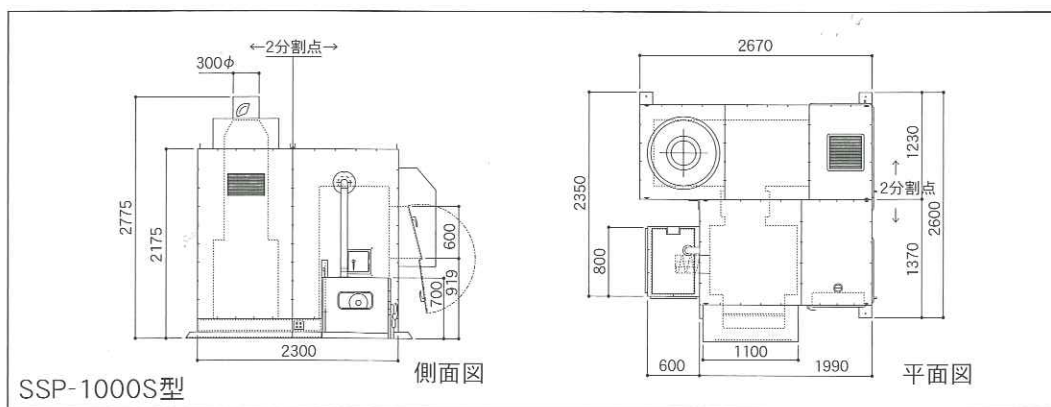
熔融減容の熱処理方法は、当社独自の高温湿潤熱風方式（ジェットスチーム）を採用しています。また、熔融炉内を湿潤熱風化（蒸気）・酸欠化により、炉内発火防止機能を備え、安全性にも優れています。

内部構造



特 長

- 無公害性** 脱臭・脱煙・脱タールを最優先した構造です。
- 省スペース性** 脱臭装置を別置にすることがないので、省スペース化が図れます。
- 安全性** 熱源バーナーが脱臭炉側にあり、蒸気発生炉よりの間接熱導入方式と、湿潤熱風（ジェットスチーム）方式の為、炉内発火が起こることはありません。
- 省エネ性** 脱臭炉の熱が利用出来る為、脱臭装置別置タイプより省エネが図れます。
- 作業性** 投入口が低く、溶融物受取箱計量器付の為、安心して連続投入出来ます。



SSP-1000S

■ 排ガス中の臭気成分等の測定結果（排気口出口）

[単位：ppm]

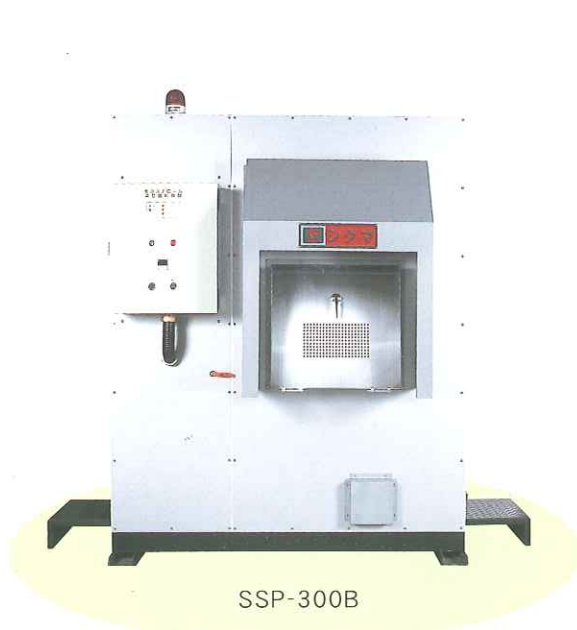
項目	試料ガス	1	2	基準値 (敷地境界線)
トルエン		0.10	0.24	10~60
キシレン		0.30	0.00	1~5
スチレン		0.06	0.04	0.4~2
ホルムアルデヒド		3.0	3.0	
アセトアルデヒド		ND(0.2>)	ND(0.2>)	
アミン類		ND(0.2>)	ND(0.2>)	
アンモニア		ND(0.2>)	ND(0.2>)	
硫化水素		ND(0.1>)	ND(0.1>)	
メチルメルカプタン		ND(0.1>)	ND(0.1>)	
二酸化窒素		18	19	
酸化窒素		ND(1>)	ND(1>)	
亜硫酸ガス		ND(0.1>)	ND(0.1>)	
塩化水素		ND(0.05>)	ND(0.05>)	

ダイオキシン類測定済み

毒性等量濃度 0.08ng以下(ng-TEQ/m³h)

※ 新設焼却炉の排出基準値 5ng(処理能力2ton/h未満)

機種と機械仕様



■ スーパースチームパッカー機械仕様

型 式	処理能力	電源	消費電力	燃料消費量		給水量	投入口寸法	外形寸法
	kg/h	V	kw/h	灯油ℓ/h	(都市ガスm³/h)	ℓ/h	(巾×高さ) mm	(巾×奥行×高さ) mm
SSP-200B	30~50	100	0.50	8~12	(4.0~ 5.7)	50	400×350	1400×1800×2170
SSP-300B	45~70	100	0.55	9~14	(6.5~ 8.2)	60	500×350	1770×1960×2520
SSP-300S	50~80	100	1.00	9~14	(7.3~11.5)	60	500×350	2370×1960×2520
SSP-500B	70~100	100	0.85	15~21	(9.8~14.0)	70	600×450	1950×2500×2450
SSP-500S	80~120	100	1.30	15~21	(9.8~14.0)	70	600×400	2250×2230×2510
SSP-1000B	100~150	100/200	3.95	24~32	(20.5~26.2)	80	700×500	2670×2870×2780
SSP-1000S	150~200	100/200	4.80	24~32	(20.5~26.2)	80	700×500	2670×2870×2780
SSP-3000S	200~250	100/200	8.50	34~47	(28.0~32.0)	100	900×550	2750×2900×3100

※ Bタイプはボックス受箱取出型、Sタイプはスクリーン押出取出型です。

※ 本表の諸元は設備の周辺温度が20℃前後で、且つ標準的な発泡スチロール漁箱・トレーを投入した場合の標準値です。従って周辺温度、使用状況、処理物の性状により変動することをご了承下さい。尚、仕様については改良の為、予告なく変更する場合があります。

関連機器のご紹介

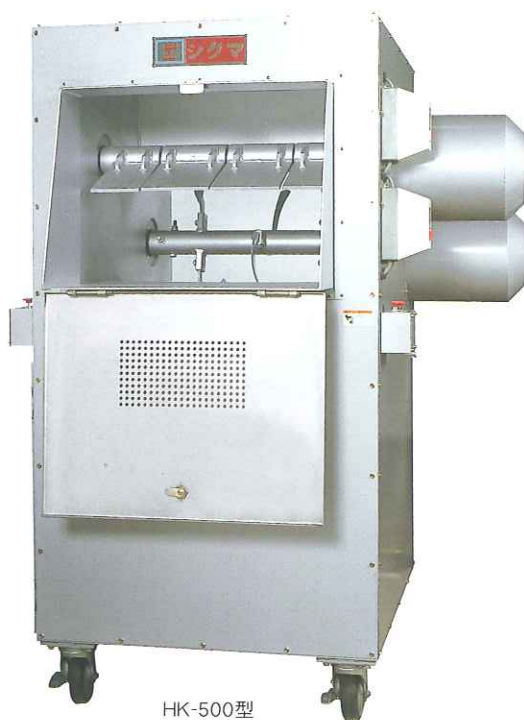
発泡スチロール専用粗破碎機

ハッピーカリコン

『ハッピーカリコン』は、発泡スチロールを粗破碎する機械です。

発泡スチロールを熔融減容する場合等で、機械の投入口に入らない様な大型の発泡スチロールでも簡単に粗破碎し、掻き込みパドルで押し込みますので、処理能力が20%～30%アップします。

機械の構造を極めてシンプルにした為、故障もなく大変タフな機械です。



HK-500型



スーパースチームバッカーSSP-500S型装着例



ジェットスチームバッカーJSP-501B型装着例

■ 発泡スチロール熔融減容機に直結した一例



減容前の発泡スチロール



投入中(HK-1000型)



減容後の発泡スチロール

型 式	処理能力	電 源	消費電力	投入口高さ	投入口寸法	外 形 寸 法
	kg/h	V	kW/h	mm	(幅×高さ) mm	(幅×奥行×高さ) mm
HK-500	300	200	3.3	1,140	680×500	1,300×1,100×1,600
HK-1000	600	200	3.3	970	800×500	1,500×1,200×1,650
HK-3000	800	200	3.3	1,130	900×600	1,600×1,350×1,650
HK-6000	1,200	200	4.4	1,300	1,300×700	2,200×1,200×2,330

※処理能力については漁箱を基準として、尚仕様は改良の為予告なく変更する場合があります。



- (財)クリーンジャパンセンターより公害防止貢献企業として表彰状を授与される(平成元年)
- 群馬県知事より一社一技術企業認定される(平成14年)
- 群馬県知事より経営革新企業認定される(平成14年)
- 群馬県知事よりR/D(試作・開発)補助金認定される(平成14年)

今、廃発泡スチロールは完全にリサイクルの時代です。

当社は減容溶融機の販売と併せて、発泡スチロール溶融固形物も再生品として責任を持って買取り致しております。

当社の発泡スチロール溶融固形物の販売ルートは輸出向と国内向に多数のチャンネルを持っておりますので、20余年にわたり一度も中断される事なく続けております。

廃発泡スチロールのリサイクルは先ず発生現場で溶融減容し、マテリアルリサイクルの原料化を計る事が最も経済的であると確信しております。



本社全景



新田工場

- お客様における廃プラスチックの減容溶融テスト用として、実機を弊社に準備しておりますので、ご見学、処理品の溶融テストの依頼がございましたら、お申し出下さい。

※本機の仕様は改良の為予告なく変更する場合があります。

製造元

 **シグマ機器株式会社**

本社 〒373-0012 群馬県太田市清原町6-3
TEL.0276-37-8366(代) FAX.0276-37-8363
新田工場 〒370-0314 群馬県太田市新田市新井町1540番地
TEL.0276-57-3646(代) FAX.0276-20-9089

お問い合わせは

●ホームページアドレス <http://www.ota-rc.e-arc.jp>

●E-メールアドレス sigmakiki@herb.ocn.ne.jp



本カタログはエコマーク認定の再生紙を使用しています。